

かすがい



市議会 だより

令和4年 第5回定例会 (9月8日～9月29日)

第121号
2022年(令和4年)11月

もくじ

議案の概要……………2
一般質問……………5

表紙写真募集中 詳しくは8ページへ



「七五三詣り」 コロナ禍により、中止を余儀なくされていた地域の行事が久しぶりに開催されました。私自身も育ったこの町で、この神社で息子の健やかな成長を感謝、祈願した日の思い出の一枚です。脱いだ着物は破れ、足元のスニーカーも良い思い出です。 撮影者：松井 夏海 撮影場所：坂下神社

議案の概要

今定例会では、令和3年度決算11件、令和4年度補正予算案5件のほか、条例案4件、一般議案8件、報告12件、人事案件1件、議員提出議案2件が提出されました。

令和3年度決算総括

一般会計・特別会計

単位:千円※

会計名	歳入	歳出	実質収支
一般会計	118,685,470	117,446,280	1,000,230
特別会計			
公共用地先取得事業	81,066	81,066	0
国民健康保険事業	25,869,164	25,484,871	384,294
後期高齢者医療事業	5,166,712	5,044,623	122,088
介護保険事業	22,975,919	22,366,034	609,885
民家防音事業	17,211	17,211	0
春日井インター北企業用地整備事業	33,070	25,264	0
潮見坂平和公園事業	135,911	135,911	0
小計	54,279,053	53,154,979	1,116,267
合計	172,964,523	170,601,259	2,116,497

・実質収支とは、歳入歳出の差引額から翌年度繰越財源を引いたもの

企業会計

単位:千円※

会計名	区分	収入	支出	差引
市民病院事業	収益的収支	20,056,643	18,555,658	1,500,985
	資本的収支	1,964,717	4,823,682	△ 2,858,964
水道事業	収益的収支	6,453,649	5,580,301	873,348
	資本的収支	233,482	1,634,797	△ 1,401,316
公共下水道事業	収益的収支	6,814,588	6,633,269	181,318
	資本的収支	5,198,414	7,740,987	△ 2,542,573

・収益的収支とは、経営活動全般に関する収支
 ・資本的収支とは、施設の建設などに関する収支

※表示単位未満四捨五入

認定第1号 令和3年度一般会計 歳入歳出決算

子どもの遊び場整備

グリーンパレス春日井2階に令和4年2月にオープンした愛称「ぐりんぐりん」の初度調弁として、大型遊具、子どもの年齢区分に応じた4つのエリアごとの玩具、その他おもちゃ交換台や調乳用温水器、券売機、サーマルカメラなど必要な物品を購入し、季節や天候に関係なく乳児から小学生までの子ども達が思いやり遊べる屋内遊び場が整備されました。

決算額 1億6957万円

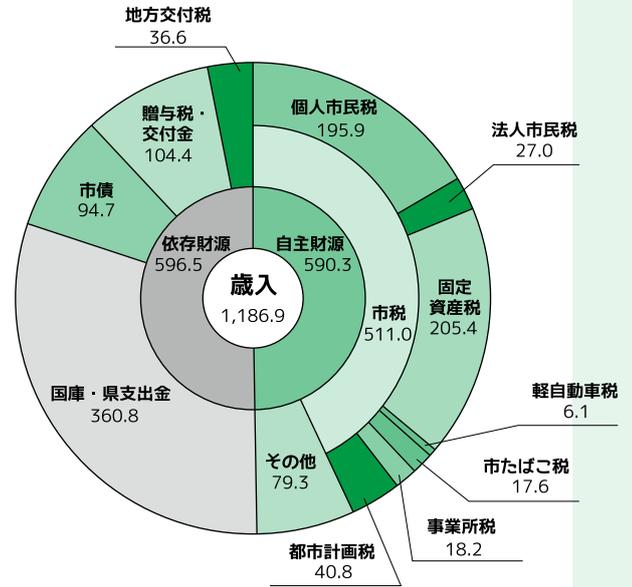
認定

議案 Pick Up

一般会計決算の内訳

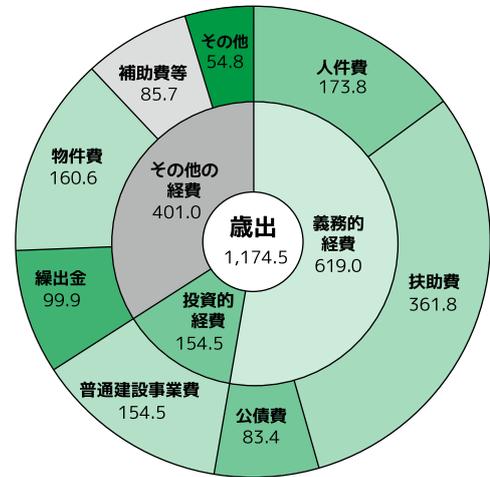
歳入

(単位:億円)※



歳出

(単位:億円)※



※表示単位未満四捨五入

第63号議案 令和4年度一般会計 補正予算(第4号)

「私立保育園施設整備等補助」

予算額 3億6925万円

令和5年度に美濃町と下市場町に新設される私立保育園2園に対して整備費の補助を行うものです。

また春日マリア幼稚園が令和5年度より幼保連携型認定こども園へ移行することに対する補助を増額するものです。

可決

議案 Pick Up

第68号議案 医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について

可決

議案 Pick Up

「旧西藤山台小学校施設小工事」

予算額 1億700万円

令和6年春にオープン予定の旧西藤山台小学校施設において、公共エリアの土木工事について整備内容が確定したため、先行して工事を行うための補正予算です。

第71号議案

クリーンセンター第2工場
基幹的設備改良工事の請負契約について

可決

議案 Pick Up

契約金額 166億9700万円

クリーンセンター第2工場は、ごみ処理施設として平成14年10月より供用開始しており、令和9年度には焼却設備の耐用年数とされている25年を迎えます。そのため、ごみ処理施設の老朽化対策や規模適正化を図り、今後も安全かつ適正なごみ処理を継続していくため、焼却設備及びそれに附帯する設備機器の改良工事を実施し、施設の延命化を図るものです。

第72号議案

クリーンセンター第1工場
火災復旧修繕の請負契約について

可決

議案 Pick Up

契約金額 6億4900万円

クリーンセンター第1工場は、本年1月に発生した可燃ごみピットの火災により、焼却設備や破碎設備などが停止しています。今後でもごみ処理を安全かつ安定に行っていくため、焼損したクリーン設備や破碎設備などの復旧修繕工事を実施するものです。

第76号議案

PEN食器の取得について

可決

議案 Pick Up

取得価格 20002万円

PEN食器とは、PEN(ポリエチレンナフタレート)を主成分とした合成樹脂でできており、原料、着色剤に発がん物質や環境ホルモンは含まれていない食器です。

今回取得する食器は新しい調理場において使用される予定です。

第79号議案

令和4年度一般会計
補正予算(第5号)

可決

議案 Pick Up

電力・ガス・食料品等
価格高騰緊急支援給付金事業

予算額 16億5130万円

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、世帯あたり5万円の支給をするものです。

私立保育園等給食材料費高騰対策

予算額 1560万円

保育事業者に対して、上半期支援してきた給食材料費高騰分について、保護者の負担の無いよう引き続き半年分を支援するものです。

高齢者インフルエンザ予防接種費補助

予算額 8520万円

今冬のインフルエンザは新型コロナウイルス感染症との同時流行が懸念されているため、県の補助金を活用し65歳以上の高齢者等の自己負担分の助成を行い、無料で実施するものです。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

予算額 7億2650万円

オミクロン株対応の2価ワクチン追加接種と、5〜11歳の3回目接種を実施するものです。

人事案件

公平委員会委員の
選任の同意について

同意

任期満了に伴い、公平委員会委員に岩本靖氏の選任に同意しました。

議員提出第2号議案

定数改善計画の早期策定
実施と義務教育費国庫負担
制度の堅持及び拡充を求める意見書

可決

議案 Pick Up

少人数学級は、保護者・県民からも一人ひとりの子どもにきめ細かな対応ができてほしいという声が多く聞かれる。山積する課題に対応し、すべての子どもたちにゆきとどいた教育を行うためにも、少人数学級のさらなる拡充を含めた定数改善計画の早期策定・実施が不可欠である。

また、子どもたちが全国どこに住んでいても、均等に一定水準の教育を受けられることは憲法上の要請である。しかし、義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は、2分の1から3分の1に引き下げられたままであり、自治体の財政は圧迫されている。教育の機会均等と水準確保のために、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率を2分の1へ還元することとは、国が果たさなければならぬ大きな責任の一つである。

よって、当議会は政府に対し、来年度の政府予算編成にあたり、定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への還元に向けて、十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

宛先

内閣総理大臣

内閣官房長官

文部科学大臣

財務大臣

総務大臣



道風くん

◆ 議案等の議決結果
議案

議決結果	議案番号	件名
決算 11件		
認定(多数)	認定第1号	令和3年度一般会計歳入歳出決算
認定(全員)	認定第2号	令和3年度公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算
認定(多数)	認定第3号	令和3年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
認定(多数)	認定第4号	令和3年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
認定(多数)	認定第5号	令和3年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算
認定(全員)	認定第6号	令和3年度民家防音事業特別会計歳入歳出決算
認定(全員)	認定第7号	令和3年度春日井インター北企業用地整備事業特別会計歳入歳出決算
認定(全員)	認定第8号	令和3年度潮見坂平和公園事業特別会計歳入歳出決算
認定(全員)	認定第9号	令和3年度春日井市民病院事業会計決算
認定(全員)	認定第10号	令和3年度水道事業会計決算
認定(多数)	認定第11号	令和3年度公共下水道事業会計決算
補正予算案 5件		
可決(全員)	第63号議案	令和4年度一般会計補正予算(第4号)
可決(全員)	第64号議案	令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
可決(全員)	第65号議案	令和4年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
可決(多数)	第66号議案	令和4年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
可決(全員)	第79号議案	令和4年度一般会計補正予算(第5号)
条例案 4件		
可決(全員)	第67号議案	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

議決結果	議案番号	件名
可決(全員)	第68号議案	医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
可決(全員)	第69号議案	自転車等駐車場条例の一部を改正する条例
可決(全員)	第70号議案	手数料条例の一部を改正する条例
一般議案 8件		
可決(全員)	第71号議案	クリーンセンター第2工場基幹的設備改良工事の請負契約
可決(全員)	第72号議案	クリーンセンター第1工場火災復旧修繕の請負契約
可決(全員)	第73号議案	財産の処分
可決(全員)	第74号議案	食缶等の取得
可決(全員)	第75号議案	台車等の取得
可決(全員)	第76号議案	PEN食器の取得
可決(全員)	第77号議案	令和3年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分
可決(全員)	第78号議案	損害賠償の額の決定
人事案件 1件		
同意(全員)	第80号議案	公平委員会委員の選任の同意
議員提出議案 2件		
可決(全員)	議員提出第2号議案	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
可決(全員)	議員提出第3号議案	国の私学助成の拡充に関する意見書



請願

議決結果	請願番号	請願名
採択	請願第4号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書
採択	請願第5号	私立高校に子どもを通わせる保護者に対する授業料助成金の拡充を求める請願書

◆ 議案等の表決結果 ※議案等について賛否の分かれた案件のみ掲載しています。

会派名	自由クラブ										公明党					市民クラブ			共産党			無党派								
氏名	堀尾	奥村	奥村	安達	前田	梶田	金澤	伊藤	加納	梶田	熊野	長縄	林	友松	小林	石飛	田口	田中	佐々木	鈴木	伊藤	村上	小原	石田	原田	伊藤	宮地	鬼頭	加藤	長谷
議案等番号	国大	博史	昇次	保子	学	正直	陽貴	貴治	満	高田	義樹	典夫	克巳	孝雄	宣子	厚治	佳子	千幸	圭祐	秀尚	杏奈	一郎	哉	裕信	祐治	建治	隆	宏明	貴章	和哉
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
認定第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
認定第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
認定第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
認定第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
第66号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○

※「○」…賛成、「×」…反対の意味です。 ※共産党＝日本共産党春日井市議会議員団の略です。
※議長は表決に参加しません。

一般質問

今回の定例会では、14人の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、28項目の一般質問を行いました。



道風くん

市政全般にわたる問題について質問します

一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。

各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)

1 「市民のスマホ普及率100%を目指す」ことについて

質問者 自由クラブ 奥村 昇次

【質問】町内会加入率57%を向上させる方策で、町内会に電子回覧板の導入が考えられる。電子回覧板は、防災、防犯、ごみ、町内行事等の情報をスマホ等でいつでもどこでも確認でき、町内会運営省力化や情報伝達迅速化に繋がる。電子回覧板等今後益々デジタル化する市の施策に対応する為、市民のスマホ普及率向上が必要で、最終的に100%を目指すことへの考えを問う。

担当 市民活動推進課・デジタル推進課

【答弁】町内会への電子回覧板の導入については、様々なメリットがある一方で課題もあることから、他市の事例や費用対効果の観点から踏まえつつ、町内会活動支援検討会議でご意見を伺いながら調査研究していきます。多くの市民の皆様がスマートフォンを保有していることを踏まえ、市民の利便性及び職員の事務効率化をより高めるため、サービス等の検討を進めます。利用方法を学ぶ機会は重要であり、今後も身近に学ぶ機会づくりに努めます。



2 部活動の地域移行について

質問者 市民クラブ 鈴木 秀尚

【質問】国は来年度からの3年間で、まずは休日部活動について集中的に地域移行を進める方針を示している。①本市では、どのように地域移行を進めていくのか。現状の課題や今後の進め方について教育委員会の考えを問う。②地域移行の受け皿となり得る側の文化スポーツ部としては、この課題をどのように捉えているのか、検討状況や今後の取組みについて問う。

担当 学校教育課・スポーツ課・文化・生涯学習課

【答弁】①休日に活動している部活動181部を全て移行できる受け皿が地域に無いため、当面の間は、学校管理下から市教委管理下の活動に移行し、指導員確保に向け、希望する教員の兼業・兼職の仕組みの構築を検討します。②本市の教育委員会が進めている地域移行にかかる検討状況の共有や国等の情報収集を行っています。今後も地域移行の方向性に基づき、教育委員会等と連携を図り、地域移行が円滑に進むよう努めていきます。



3 部活動の地域移行について

質問者 自由クラブ 金沢 はるき

【質問】公立中学校の運動部活動の運営主体が学校ではなく地域や民間クラブ等の学校外に託される、いわゆる「部活動の地域移行」が国で議論されている。地域移行により部活動に月謝が発生すると言われているが、あらゆる教育の機会は均等であるべきであり、経済格差が教育格差を招くことがあってはいけない。生活困窮世帯への部活動支援の対応等を問う。

担当 学校教育課

【答弁】部活動は、子どもたちが、スポーツ・文化活動を通して様々なことを経験し、健やかに成長するための重要な活動と考えています。国は、地域移行に伴い、必要な費用を受益者負担とすることを原則としていますが、いかなる場合も、経済的な問題で子どもたちがスポーツ・文化活動に参加できないという事態を生じさせてはならないと考えており、導入時期とあわせて、費用負担のあり方や支援のあり方を検討していきます。



4 本市における観光推進について

質問者 無会派 はせ かずや

【質問】「観光によるにぎわい創出基本計画」中間案は、従来より観光に対する取組みが前向きだ。どのように計画を実行していくのか。また、以前から要望している愛岐トンネル群保存再生委員会への支援に関して、連携強化と共に受入環境や施設の整備など具体的に示され高く評価する。県や多治見市との協力調整は喫緊の課題だが、どう取組むのか市の考えを問う。

担当 経済振興課

【答弁】本計画の推進にあたっては、市や関係団体、事業者、市民などが一体となった「オール春日井」の体制を築き、さらなる連携の強化を図っていきます。また、保存会が愛岐トンネル群を適切に活用できるように、まずは、市と保存会が連携しながら、課題を整理し共有することから始め、その解決に向けて方策を検討していきます。必要に応じて、愛知県や多治見市といった行政機関とも調整を行っていきたくと考えています。



5 带状疱疹の予防について

質問者 公明党 小林 のぶ子

【質問】コロナ禍において带状疱疹にかかる方が増えているといわれている。80歳までに約3人に1人が発症するといわれており、早期に治療を始めなければ合併症や後遺症の可能性も高くなる。予防のためにはワクチン接種が有効であるが、任意接種のため費用負担が大きい。早期治療を始めるための市民への情報発信と予防接種のための費用助成に関して市の考えを問う。

担当 健康増進課

【答弁】带状疱疹の予防には、免疫力を低下させないよう、適切な体調管理を行うことや、重症化を防ぐためにも医療機関への早めの受診が大切です。带状疱疹ワクチンは、発症率の低減と重症化を予防し、市民の皆様の健康で元気な生活を守るためにも、重要な施策と認識しています。助成の導入については、市医師会と情報交換を行い、他市における費用対効果や対象者の範囲などを参考にし、実施に向けて検討しています。



6 グリーフケアの取り組みについて

質問者 公明党 田口 よしこ

【質問】大切な人を失った悲しみ、不安定な状態をグリーフと言います。相談員が寄り添い、援助することをグリーフケアと言います。①本市におけるグリーフケアの認識、周知、啓発について問う。周産期(妊娠22週から出生後7日未満までの期間)の死も含めて、子どもとの死別は、近親者との死別の中でも特にグリーフが強い、②周産期グリーフケアについて問う。

担当 健康増進課・子ども政策課

【答弁】①グリーフケアは、悲嘆を抱える方に寄り添い、心情に配慮したきめ細やかな対応で、適切な支援につなげるものと考えます。今後、市のホームページ等において、相談支援やピアサポート等の情報提供に努めます。②子育て世代包括支援センターでの相談、県の相談機関の紹介、保健師等による状況に応じた継続的な支援をしています。また、流産や死産後の心情に配慮し、母子保健サービスの連絡等を停止しています。

【その他の質問事項】

■子どもの家の利用について

7 公園の利用・整備について

質問者 市民クラブ 伊藤 あんな

【質問】インクルーシブ公園とは障がいのある子どもと一緒に遊ぶことができる遊具や設備を整備した公園のことで、近年広がりを見せています。①本市での現状について。②今後の整備について、落合公園にインクルーシブ遊具を整備する考えについて問う。また公園での禁止事項となっている花火遊びについて③条件を緩和する考えがないか問う。

担当 公園緑地課

【答弁】①本市においてインクルーシブの理念を取り入れた遊具整備の実績はありません。②落合公園では「誰でも、自由に、使いやすい」公園となるようバリアフリー化を進めていることから、インクルーシブ遊具の設置についても引き続き調査研究していきます。③公園での花火利用については、市民から多くの問い合わせがあることから、近隣市町の状況や、地元区や町内会の意見も踏まえ、試行的に許可することなどを今後検討していきます。



8 防犯カメラ付きLED防犯灯について

質問者 公明党 佐々木 けいすけ

【質問】ここ数年、防犯カメラが付いたLED防犯灯が販売されています。安全・安心で犯罪抑止にもつながることから①市への寄贈と補助制度を活用した防犯カメラと、町内管理されているLED防犯灯の設置数について②今後普及する防犯カメラ付きLED防犯灯の設置、取組みの考えについて③防犯カメラ付きLED防犯灯も器械設置費と電気料金の補助対象になるのか問う。

担当 市民安全課

【答弁】①防犯カメラの設置数は、市への寄贈が156台で、補助制度によるものが260台です。LED防犯灯の設置数は約1万6500灯です。②防犯灯の明かりが防犯カメラの夜間照明になることから、設置については、防犯カメラとして考えています。③設置費用は現行の補助制度による対象となります。電気料金は現在のところ、補助制度はありませんが、既存の防犯カメラへの補助も含め、調査研究していきます。



9 本市の農地の活用について

質問者 公明党 田中 千幸

【質問】最近、身近な農地がコンビニや企業用地に変わっており、農地の減少を感じる。我が国の食料自給率を高める重要性が指摘されている。そこで、市内の農地面積とその内の市街化区域内農地の割合を問う。また、平成4年以降、解除された生産緑地の面積を問う。また、障がい者就労のため、事業者が農地を取得して活用することは可能なかを問う。

担当 農政課

【答弁】本年1月1日現在では、市内の農地面積は832.2ヘクタールで、その内の市街化区域内農地は約21パーセントを占めています。生産緑地については、平成4年以降、31ヘクタールが解除されています。また、事業者が農地を取得するためには、農地法に定める一定の要件を満たす農地所有適格法人である必要がありますが、例外として、社会福祉法人が障がい者の就労のため、農地を取得して活用することは可能です。



10 良好な教育環境の整備について

質問者 市民クラブ 小原 はじめ

【質問】①文部科学省の調査結果において、教員が足りず学校に本来配置するはずの人数を満たせない状態があると発表されるなか、本市の令和4年度当初の教員定数とその充足状況について②放課後なかよし教室、サマースクールかすがいにおいて、運営スタッフの安定した確保のための仕組みとサマースクールかすがいの受け入れ開始時間を前倒しすることを問う。

担当 学校教育課

【答弁】①今年度当初の教職員定数は、1421人ですが、小学校4校で4人、中学校3校で3人の常勤講師が確保できず、校務主任が担任を兼務したり、複数の非常勤講師を1人分として配置したりしています。②週3日勤務の導入、給与の改善など、職員の働きやすさ、待遇の向上に努め、求人活動も様々な媒体での周知に努めています。受け入れ開始時間の前倒しは、従事者の確保が困難なため現在のところ考えていません。

【その他の質問事項】

■観光によるにぎわい創出について

11 おもいやりベンチの設置について

質問者 無会派 加藤 たかあき

【質問】春日井市内のバス乗降者数は一日あたり、1万1000人でバス停留所は路線バス318箇所、シティバス258箇所となっております。うちベンチが正式に完備してあるのは10箇所のみとなっております。他に病院のバス停や道端でもベンチがあることで、一息付けて助かることも多いと感じております。バス停やまちなかベンチの設置施策と地域要望の設置について問う。

担当 都市政策課

【答弁】バス停やまちなかのベンチの設置については、歩道の幅員や通行状況、周辺の施設や住居の立地状況などを総合的に勘案した上で判断する必要がありますが、バス停ベンチに限らず、民有地で設置される場合等を含めて、他市での取り組みを調査研究します。また、地域でのイベントなど自治会等からベンチ設置のご相談をいただいた際には、現地を調査する等できる限りご協力できるよう努めます。

【その他の質問事項】

■ドローン飛行について

12 下水道事業について

質問者 共産党 伊藤 建治

【質問】河川も名古屋港も水質改善された。国は下水道だけでなく合併浄化槽、集中浄化槽も適正な汚水処理方法とし普及率は2026年に95%になる。下水道整備は市の財政にも大きな負担で、整備地区の市民にも受益者負担金、接続の工事、浄化槽の廃止費用など負担を求める。使用料は1.5倍に値上げ。次の整備は必要としている所を選定もしくは一度中断すべきではないか。

担当 上下水道経営課

【答弁】公共下水道整備は、公共用水域の水質保全だけでなく、公衆衛生の向上による生活環境の改善、ひいては都市基盤として、まちの価値の向上にもつながります。今後の長期にわたる市の将来を見据え、また、投資効果などについても十分に勘案しながら区域を選定し、効率的かつ効果的な整備を進めていきます。

【その他の質問事項】

■公共交通、高齢者の移動支援について ■学習支援事業について
■学校の制服について ■新型コロナの対応について

13 シティバス等の割引について

質問者 共産党 宮地 ゆたか

【質問】知人が75才前に運転免許証を返納し、お金を出して運転経歴証明書を貰い、シティバスを利用した時に見せたら、これでは割引できないと言われました。運転経歴証明書を使える様に出来ないか？それがダメなら、バス等を使って市役所へ運転免許自主返納者カードを貰いに行く事も大変なので、ふれあいセンター等で発行できるように改善する考えを問う。

担当 都市政策課

【答弁】運転経歴証明書を直接運転手に見せて割引を受けることは、運行事業者から、運転免許証と見分けがつきにくい、住所の確認が必要になる等、安全運行に努める上で運転手の負担となるとの意見があり、現行のカード発行とした経緯があることから、運転経歴証明書での割引は行っていませんが、交付場所を増設することやインターネットでの申請等について、関係機関等と調整します。

【その他の質問事項】

■子どもの新型コロナワクチン接種率について ■土地開発公社について
■小学校低学年の読解力育成について

14 奨学金について

質問者 共産党 原田 祐治

【質問】大学の学費は高額である上に、奨学金を借りればその返還が重荷になる。この数十年で学費は値上がりする一方、労働者の実質賃金は低下している。大学で学んだ学生は働き手となり社会を支える点からも、公的に学びを支えることは重要であるとする。そこで①市独自の奨学金を創設する考えについて②奨学金の返還を支援する考えについてそれぞれ問う。

担当 教育総務課

【答弁】①他の奨学金制度が拡充されており市独自の制度を創設しない考えに変わりはありません。②市では、市内中小企業の人材確保と労働者の経済的負担軽減を図るため、従業員への奨学金等の返済支援制度を設けている市内中小企業に対し、市独自の返済支援補助金制度を創設しており新たな制度を創設する考えはありません。

【その他の質問事項】

■就学援助について ■県政150周年記念行事について
■踏切の安全対策について ■避難所でのエアコンの使用について

令和4年第6回定例会予定

- | | | | |
|-------------------|---------------|----------------------------|-----------|
| ▽11月29日(火) 10:00～ | 本会議(提案理由説明) | ▽12月 8日(木) 9:00～ | 総務委員会 |
| ▽12月 1日(木) 10:00～ | 本会議(質疑、委員会付託) | ▽12月12日(月) 10:00～ | 本会議(一般質問) |
| ▽12月 5日(月) 9:00～ | 文教経済委員会 | ▽12月13日(火) 10:00～ | 本会議(一般質問) |
| ▽12月 6日(火) 9:00～ | 厚生委員会 | ▽12月15日(木) 10:00～ | 本会議(採決) |
| ▽12月 7日(水) 9:00～ | 建設委員会 | ※議事の都合により、日程が変更になる場合があります。 | |

委員会開催状況

- 文教経済委員会 (8月16日)
 - 報告事項
 - 1 春日井市観光によるにぎわい創出基本計画(中間案)について
 - 2 株式会社ホテルプラザ勝川の経営状況について
 - 3 令和4年度教育に関する事務の点検及び評価報告書について
- 厚生委員会 (8月17日)
 - 報告事項
 - 1 社会福祉法人春日井市社会福祉協議会の経営状況について
 - 2 保育園の整備について
- 建設委員会 (8月18日)
 - 協議事項
 - 1 公共交通整備に係る要望活動について
 - 報告事項
 - 1 市営下原第2住宅について
 - 2 旧西藤山台小学校施設公共管理区域の整備について
 - 3 潮見坂平和公園合葬式墓地の制度設計について
 - 4 下水道事業受益者負担金について
- 総務委員会 (8月19日)
 - 報告事項
 - 1 土地開発公社の経営の健全化に関する計画の実施結果について
- 文教経済委員会 (9月14日)
 - 付託議案 11件、請願 2件
- 厚生委員会 (9月15日) 付託議案 9件
- 建設委員会 (9月16日) 付託議案 8件
- 総務委員会 (9月20日) 付託議案 5件
- 総務委員会 (9月29日) 付託議案 1件
- 厚生委員会 (9月29日) 付託議案 1件

写真募集

募集する写真

応募者本人が、春日井市内において概ね1年以内に撮影した未発表のもの

応募方法

持参、郵送またはEメールにて、写真(※)と所定の応募用紙を、議事課まで提出してください。また、応募作品は原則返却しません。

※写真データ(3MB以下)、現像写真(L判以上A4サイズ以下)のものでA4サイズで印刷し、被写体が鮮明に確認できるもの。

※Eメールで応募いただく場合、容量制限(本文と添付ファイルの合計3MB以下)があるため、複数の写真をEメールで応募される場合等は、事前に議事課へご連絡ください。

※詳しくは春日井市議会ホームページをご覧ください。

<https://www.city.kasugai.lg.jp/shigikai/1020123.html>



次号2月発行第122号の表紙写真を12月14日まで受け付けています。編集の都合により、過去に春日井市議会議長賞を受賞した作品(書・ポスター等)を掲載することがあります。

編集後記

本定例会では、令和3年度の決算や令和4年度の補正予算等について審議されました。令和3年度の決算をみると、新型コロナウイルスの影響から、歳入・歳出、どちらも、通常とは異なる行財政運営がなされたことが分かります。今後は、ウィズコロナ、アフターコロナの時代を見据え、市民の皆様への安全・安心なまちづくりを推進するため、様々な課題について議会での活発な議論を重ねてまいります。

この市議会だよりは、より市議会を身近に感じていただけるよう、議会報編集委員会のメンバーが中心となって編集を行っています。分かりやすく親しみやすい市議会だよりにするため今後も努力してまいります。

編集委員一同

■視覚障がいのある方に、本紙を音訳した「声のかすがい市議会だより」(カセットテープ又はCD)を郵送します。事前に登録が必要ですので、ご希望の方はご連絡ください。

